

東日本大震災の犠牲者に哀悼の意と、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この企画は三つの目的からスタートしました。一つ目は「若者が日本のこと、大阪のことをあまりにも知らなさ過ぎる」ことへの反省。グローバル化が進む中、外国人を相手にコミュニケーションをとったり、ビジネスする機会がますます増えていきます。その時に最も必要なものは何でしょうか？ 勿論、外国語を学ぶことは重要ですが、それ以上に重要なのは自分の国・地域についての誇りと知識です。何故なら世界では自分の国・地域のことを知らない人間は信用されないし、自らの国や地域に誇りを持たない者は絶対に尊敬されることなどありません。だからこそ若者たちは日本・大阪の良さを学ぶべきなのです。

二つ目は「一流の人、一流のモノに触れよう」。現代社会には、真贋の見分けのつきにくいことがたくさんあります。そんな混沌とした時代を生き抜くためには、ブレない確かな目を持たなければなりません。一流の人、モノに触れることで、自然に自分の中に正しい判断のモノサシができてくるのです。

三つ目は「RACのことをもっと一般市民の方々に知ってもらいたい」。そのためにはRACがどのような活動をしているのかを、一般市民の方々に共に汗を流し感じてもらうことです。

そういった観点から、一日目は昔遊びと大阪料理を体験し、昔の大阪の遊び・大阪の食文化の素晴らしさを実感してもらいました。ウェルカムパーティーでは「いけばな」を観、ポップな感覚での手作りファッションショーを体験、日本のおもてなしの心と日本の服装文化の素晴らしさを実感していただきました。

二日目は、大阪文化といえば、上方落語。その中でも囃し手をはじめとした裏方の活動をクローズアップしながら落語（英語字幕付き）を堪能し、言葉文化の素晴らしさを実感。午後からは、世界を代表する建築界の巨匠である安藤忠雄氏から、多くの一般市民の方々と、日本建築文化の素晴らしさ、若者への熱いメッセージを聞きました。

最後に大阪の街を参加者全員でクリーンハイクすることで、多くの一般市民の方々にRACの活動を知ってもらい、大阪人としての誇りを取り戻してもらいました。

このシンポジウムを通して、より多くの若者が日本・大阪のことをよりよく知り、好きになることで、自らの国や地域への誇りを持つようになり、また大阪の生んだ天才建築家から一流の素晴らしさと、大阪の未来への情熱を肌で感じ、多くの一般市民にRACのことを知ってもらえたことだと確信します。

寝る間も惜しんで取り組んでこられたたくさんの方々のローターアクト

一達、そしてそれを陰で支えて頂いた多くのロータリアンに心より感謝し、このシンポジウムで学んだ若者の思いと元気が被災地に届き、被災された人達が癒され、一日も早く復興されることを祈念します。

プロジェクト実行委員長 **伊勢森 慶子**  
(パストRA代表)  
(大阪梅田ローターアクトクラブ)

桜が少しずつ花を咲かせる頃、中之島の中央公会堂で国際ロータリー第2660地区ローターアクト奉仕プロジェクト『ええで、VIVA 大阪!!～若者による日本文化シンポジウム～』を開催しました。コンセプトとして、私達が活動の拠点としている『大阪』の魅力、そして『日本文化』の魅力を伝え広めていく、同時に一般市民の方々に私たちの活動を知って頂く、この二点を目的としました。

初日は2つのグループを作り、日本料理や大阪ならではの食文化を学び、実際に料理体験をするチームと、剣玉や百人一首、紙飛行機などの昔遊びを体験するチームとに分かれ、笑顔あふれる体験をして頂きました。夜のウェルカムパーティーでは、日本文化の象徴である生け花パフォーマンスで幕開け。吉本興業の銀シャリにお越し頂き、大阪のお笑いをライブで披露して頂いた後は、私達ローターアクトで作り上げた、着物や武道、サブカルチャーのファッションショーをお楽しみ頂き、盛大なパーティーとなりました。

二日目は午前中に大阪の文化を代表する上方落語を、日本で英語落語の先駆者である桂小春團治様をお迎えし、英語の字幕付きでご覧頂きました。午後には今回の目玉プロジェクトとして、大阪が世界に誇る建築家・安藤忠雄様にお越し頂き「大阪の魅力若者に伝える」をテーマに、一般市民の方々も招いての講演会を催しました。

ロータリアン、ローターアクト、OBOG、他地区のローターアクト、そして一般の方々、総勢800人をお招きしての講演会は、参加者の皆様に大変お喜び頂き、何よりも安藤様に「若者が多く楽しかった」と言ってもらえる事が出来、感極まる講演会となりました。

最後は、一般の方々も交えたクリーンハイク。軽トラック2台分のゴミを集め、参加者の皆様にローターアクトの魅力と活動を存分にPR出来たのではないかと思います。

今回このような大きなプロジェクトを無事に開催出来たのは、支えて頂いた地区ローターアクト委員会のロータリアンの皆様のお陰です。この誌をお借りして感謝申し上げます。

今後も私達ローターアクトはロータリーの精神を大切に、日々精進していく所存です。何卒よろしくお願い致します。

